

一般質問通告書

令和8年6月2日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 5番 松木 純子

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
②. 項目ごと一括質問一括答弁

| | |
|---|---------------------------------|
| (質問番号 2) | 地域活性化と泰山寺の未来について |
| 発言事項 | ～人口減少時代の持続可能な地域づくりとごみ行政～ |
| 要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。) | |
| <p>泰山寺地区は、美しい農村景観や豊かな自然環境に恵まれ、市内外から多くの人を訪れる地域です。周辺には無農薬野菜にこだわったカフェや乗馬体験施設があり、大根の産地としても知られています。私は、この地域は高島市の貴重な地域資源であり、農業・観光・環境が調和した地域として、市を挙げて振興していくべき地域であると考えています。一方で、地域では高齢化や後継者不足、獣害対策、畑地かんがい用水の老朽化など、多くの課題を抱えており、地域振興策を求める声があることも理解しております。私は、ごみ処理施設の必要性そのものを否定するものではありません。しかし、泰山寺にはまだ十分に活かされていない大きな可能性があると考えています。</p> <p>例えば、四季折々の花を楽しめる景観づくりや体験型農業、地域おこし協力隊と連携した農業振興などに取り組みれば、市内外からさらに多くの人を呼び込むことができるのではないのでしょうか。人が訪れるようになれば、地域の魅力が広く発信され、近隣のカフェや農産物販売にも波及効果が生まれます。農業・観光・環境を組み合わせた地域づくりには、まだ大きな伸びしろがあると考えています。</p> <p>市はごみ量の将来推計を踏まえ、新ごみ処理施設規模の見直しを行いました。しかし、「施設を小さくしたから安くなる」とは限りません。焼却</p> | |

施設は設備の維持や運転管理など多くの固定費を必要とするため、小規模施設ほどスケールメリットを得にくく、一人当たりの負担が大きくなる可能性があります。

さらに本市では人口減少が進んでおり、ごみの量も長期的に減少傾向にあります。加えて、本年3月議会では、市はごみ減量化に向けた先進事例の研究を進めるとの答弁をされました。ごみ減量は環境負荷の軽減や資源循環の推進につながる重要な施策であり、今後さらに推進すべきものと考えます。人口減少とごみ減量化が進めば、将来的には焼却ごみ量はさらに減少することが予想されます。そうした中で、小規模焼却施設を単独で維持していくことが、本当に将来世代にとって持続可能な選択なのかを改めて検証する必要があるのではないのでしょうか。

以下問います

1. 泰山寺の将来ビジョンについて

泰山寺を、高島市を代表する農業・観光・環境の地域として育てていくのか、市はどのような地域の将来像を描いているのでしょうか。

2. 焼却場建設と地域活性化の両立について

市は「景観に配慮した施設整備」を説明されていますが、私が懸念しているのは施設そのものではありません。泰山寺の価値は、静かな農村風景と自然の中で過ごせる時間にあります。ごみ搬入車両が日常的に往来する環境となった場合でも、現在と同じように観光客が訪れ続けると考えているのでしょうか。

また、その根拠となる調査や検証結果があるのでしょうか。

3. ごみ減量化について

全国的に脱炭素や資源循環の観点から、ごみ減量化が重要となっています。本市も3月議会でごみ減量化を進める考えを示しました。高島市として今後どのような減量施策を進めるのか。

4. 将来世代への責任について

物価高騰や建設資材価格の上昇、人手不足に加え、中東情勢など国際情勢の影響による物流の停滞や資材調達の不安定化など、社会経済情勢はごみ処理施設の計画当初から大きく変化しています。実際に全国では、建設費の大幅な増加や資材不足などを理由に、事業の見直しや延期、あるいは中止を決断し

た事例も見られます。現在の状況は、新ごみ処理施設の計画を策定した当時には十分想定されていなかった環境変化ではないでしょうか。

市は、こうした社会経済情勢の変化をどのように分析しているのか。

また、物価高騰や人口減少が進む中においても、今この時期に施設建設を進めることが将来世代にとって最善の選択であると判断した根拠は何か、お伺いします。